

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
音楽表現 I Musical expression I		1年	前期	月曜日・5時限 水曜日・4時限、5時限
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習		選択 (保育士養成課程必修 教職課程必修 (幼稚園教諭二種))	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
ピアノ演奏法 I				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
教職課程(幼稚園教諭二種)、保育士資格取得に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
岡泉志のぶ	本館3階	月・水・木・金	授業中に指示します	
授業の概要				
子どもにとって遊びは生活の全てであり、心身の発達に欠かせないものである。音楽遊びもその一つであり、保育者として子どもたちに音楽的な遊びを指導する力が必要となる。この授業では、子どもの遊びを展開するために必要な音楽的知識と技術を身につけ、乳幼児の音楽的成長と発達について理解を深める。また、保育士、幼稚園教諭二種の資格取得を目指し、音楽的な表現活動に関わる指導法の習得と、具体的な展開のための技術の習得をする。				
授業の到達目標				
①音楽の基礎能力を身につけ、音楽的な活動の理解を深めることができるようにする。 ②子どもの発達と表現に関する理解を深め、音楽的指導法について習得することができるようにする。 ③子どもの表現活動での教材活用や具体的な表現活動の展開方法を学ぶことができるようにする。				
授業の方法				
講義（音楽理論）を含んだ演習科目であり、音楽理論の授業は講義形式で行い、必要に応じて音楽理論の理解を深めるために鍵盤楽器を使用することもある。また、グループでのディスカッションや鍵盤楽器を使用して、総合的な音楽技術の習得をする。				
学習の成果				
①音楽の基礎的な知識を身につけることができ、子どもの音楽的な活動を理解することができる。 ②子どもの発達と音楽的な表現活動を理解して、各年齢に応じた音楽的な表現活動の指導について指導案を作成することができる。歌や楽器等の指導することができる。 ③子どもの音楽的な表現活動での教材の活用や、具体的な表現活動の展開方法を保育の場に活かすことができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション：授業概要、評価方法の説明、受講する際の注意点			
第2回目	音楽理論①：音名、音階、音符、拍子とリズム			
第3回目	音楽理論②：調とメロディ、和音、速度記号や曲想標語			
第4回目	乳幼児の音楽的成長とからだの発達			
第5回目	乳幼児の生活と音楽遊びの環境			
第6回目	感性と表現の教育（保育所保育指針、幼稚園教育要領）、保育者の役割			

第7回目	指導計画の作成①（基本的な考え方、指導上の留意点）	
第8回目	指導計画の作成②（音楽的配慮と指導法について）	
第9回目	乳幼児と楽器－指導ポイント① 打楽器奏法の特徴と奏法	
第10回目	乳幼児と楽器－指導ポイント② 器楽伴奏法（コードネームを用いて）	
第11回目	教材の活用と具体的な展開方法① ー説明と計画ー	
第12回目	教材の活用と具体的な展開方法② ー実践ー	
第13回目	音楽的表現と総合的な表現活動の展開①	
第14回目	音楽的表現と総合的な表現活動の展開②	
第15回目	音楽的表現と総合的な表現活動の展開③	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
授業参加態度	20%	学習意欲を持って授業に参加する。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験		
発表内容（態度含む）	60%	指導計画に沿った教材の活用法と音楽的技術による評価。
その他	20%	指導計画案の作成内容（個人作成）と課題による評価。
教科書と参考図書		
テキスト：幼児のための音楽教育（教育芸術社） 参考図書：幼児曲集（様々な出版社から幼児曲の楽譜が出版されている）		
履修上の心得・ルール		
授業中の居眠り、私語、携帯電話の使用、飲食は禁止とし、MR I（音楽室）は土足厳禁である。授業内容によっては課題を提出するので、提出内容、期限等は必ず守ること。		